

苦しいなかにも 楽しいわがまちに

平成20年度予算決まる

3月定例議会は、3月6日から26日までの21日の会期で開かれ、初日には、町長が施政方針を述べました。町長は、逼迫した苦しい財政状況のなか、財政の健全化や大山恵みの里計画の具現化、少子・高齢化など地域課題への取り組みの推進を基本方針に据え、行政運営していくことを表明しました。

平成20年度一般会計、特別会計、事業会計など21会計の予算と29の条例改正などの議案は、予算等審査特別委員会を設置し集中審議を行い、一般会計予算は賛成多数で、その他の議案はそれぞれ全会一致で原案のとおり、可決いたしました。また、教育委員会委員の選任や平成19年度補正予算、議員提案による国への意見書など21議案もあわせて審議し、全会一致で原案のとおり、可決しております。

一般質問には、12人の議員が農業振興や地球温暖化防止対策、財政問題などに活発な議論を展開いたしました。

卒業証書授与式



また、新たな旅立ち

基金と地方債 … 一人あたり貯金は16万円、借金は133万円で前年と比べほぼ横ばい

平成20年度の基金の状況は、一般会計では合併振興基金2億4,267万円の新規積立と減債基金1億円、地域福祉基金1億円の取崩が予定され、特別会計では所子工業団地造成のため、土地開発基金1億7,720万円の取崩が予定されています。公債費の状況は、一般会計では多少減少の傾向にありますが、特別会計では、地域情報通信基盤整備事業の借金返済が19年度から始まったことにより、一般会計を上回る額となっています。総体的には、基金、公債費とも、前年に比べほぼ横ばいとなっています。

区 分		18年度末現在高	19年度末現在高(見込)	20年度末現在高(見込)
基金 (町の貯金)	一般会計	22億759万円	24億6,019万円	25億5,980万円
	特別会計	6億7,306万円	6億7,483万円	4億9,870万円
町債 (町の借金)	一般会計	127億9,590万円	125億3,999万円	121億7,242万円
	特別会計	124億9,967万円	138億6,130万円	131億1,672万円